

お知らせ

◆第3回 2008年度

遠藤周作研究会のお知らせ

第3回遠藤周作研究会が、9月27日(土) 1時より関西学院大学を会場に行われます。研究発表では若い研究者による『わたしが・棄てた・女』論、「黄色い人」論、『女の一生 二部・サチ子の場合』論、『死海のほとり』論が予定されています。参加費は無料ですので、ご自由にご参加ください。

問合せ 遠藤周作研究会事務局

☎086-22715665

11月8日、12月13日(土)
3時20分～4時50分
幼きイエス会
(四谷駅麹町口前)

☎03-3261-0825

講師 山根道公

受講料 1回2000円(学生半額)

申込み 風編集室

☎086-22715665

内容 遠藤氏が病床体験で出会った

苦しみの同伴者である母なるイエス像を求めて、聖書研究と聖地巡礼を行なった結実である『イエスの生涯』を読み解き、日本人にも実感できるイエス像について考えます。

◆特別講座「遠藤周作の世界」

日時 10月18日(土) 午後1時～3時

会場 読売・日本テレビ文化センター 川崎(川崎BE)5階・JR川崎駅ビル内)

◆遠藤文学講座のお知らせ

〈遠藤周作の生涯と文学〉
『イエスの生涯』を読む

日時 9月13日、10月11日、

原稿募集・遠藤作品

「わが思いの一作」

遠藤作品は膨大です。小説や戯曲やエッセイ等々。誰もが認める名作もあれば、全集等には収録されていないものの、ひっそりと輝いている珠玉の作品や短編等も少なくありません。作品の種類、長短は問いません。皆さんにとつての「思いの一作」「とっておきの作品」「珠玉の一編」等、これだという作品をぜひお知らせください。

〈応募要領〉

- 手書き、パソコンいずれでも結構ですが、必ず下記の周作クラブまで郵送してください。
- 作品名と出版社名を、単行本以外の場合は掲載紙誌名をお書きください。
- 400字以内で、その作品を推荐理由を書き添えてください。
- 締め切りは9月30日、住所・氏名・電話番号をお忘れなく。
- 以上、できるだけ多くの皆さんからの応募を期待しております。

講師 加藤宗哉(作家・三田文学編集長)
※特別講座のため入会金は不要。参加費は会員2100円、一般2415円。
※お申込みは、読売・日本テレビ文化センター川崎まで。

☎044-2221-5590

☎044-2221-5597

◆前号の訂正とお詫び

前号(会報31号)の「お知らせ」ページ中、「会員からのお便り」に遠藤先生の誕生日が「3月23日」とありますが、「3月27日」の誤りです。また、「編集後記」中、遠藤周作の実父「遠藤恒久」とあるのは、「遠藤常久」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」に入会しませんか。年会費(9月～翌年8月)はたったの3千円、なんと月額250円です。年4回、遠藤文学に関する様々な情報が載るこの会報が送られるほか、会が主催する勉強会やパーティー、遠藤文学の足跡を訪ねる旅行会などに参加できます。

遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという若い人も大歓迎です。また会員の方も、どうぞご家族や友人、知人をお誘いください。下記の加藤宗哉事務所内「周作クラブ」までおハガキかFAXを下されば、折返し会費振込用紙をお送りします。

◆編集後記

▼前号で、太原正裕さんの労作「遠藤周作映像集」を掲載しましたが、好評です。映画やテレビ等、映像化された遠藤作品、また遠藤周作自身が出演した番組等、これほど沢山あったとは驚きです。太原さんによれば、まだまだ埋もれた映像があるはずだということ。お気づきの方は、ぜひ事務局まで一報ください。

▼本号掲載のエッセイ「三度目のローマ」は、これまでどの遠藤作品にも収録されていなかったものです。文学作品というほどのものではありませんが、遠藤先生の人柄と、海外旅行におけるご夫婦の関係がユーモラスにつづられた好エッセイです。こうした埋もれた小品も、まだ少なからずあることと思います。こちらも、お気づきの方はぜひご連絡ください。

▼今年から、遠藤周作命日の9月29日に催される「周作クラブ総会」と「周作忘の集い」は、東京神田一ツ橋の「如水会館」が会場となります。一ツ橋の地は、旧江戸城内で、ご三卿の一である一ツ橋家の屋敷跡です。徳川最後の将軍慶喜は、11歳で一ツ橋家に入り、ここで育ちました。(剣)

「周作クラブ」第32号

2008年8月発行

- 発行人 加賀 乙彦
- 編集人 高橋千劍破
- 副編集人 金子 コウ
- 編集委員 岡田厚美、黒澤政子、近藤恭弘、矢内一正
- 発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」
TEL080-1097-1979
FAX03-3411-7939

●次回の会報発行は11月下旬の予定です。